

徳島の方言をInstagramで伝える

私たちが、普段使っている阿波弁を守りたいまた、県内外に阿波弁を広めたいと思い、そこでInstagramを使って広報活動を行うことにした。阿波弁のことに自分たちが持っている知識だけではなくインターネットで調べたことを加えて、阿波弁の使い方や意味などを問題形式にして投稿した。Instagramで活動をしていく中で、いいねの数や閲覧数を見ると世間体では可愛いとされる阿波弁単語の投稿のいいね数が多かった。また、県内在住のフォロワーさんから「意外と知らない阿波弁があった」という感想をいただき、まだまだ阿波弁の認知度は低いという結論となった。これからも広報活動を続けると阿波弁の認知度は上がると提言する。

1. 背景



↑アカウントのアイコンで使った写真

中国語の俚人語のように、言葉は消滅することがある。100万人が話すことの出来る言語は100年残る。しかし、現在の阿波弁はそれほどの数の人を抱えていないだろう。そのため、阿波弁を今の若い人たちやたくさんの人により広めて伝統的に残していくべきだ。そこで、たくさんの人が気軽に見ることができるInstagramを活用して、阿波弁を発信することに決めた。

2. 方法と結果

Instagramを用いて阿波弁の認知度をいいね数や閲覧数を元に調べた。また、アカウントを閲覧数などを分析することができるプロアカウントに切り替えインサイトを使って閲覧数などを調べた。インサイトから普通の

投稿に比べて、閲覧者数が多いことが分かった。

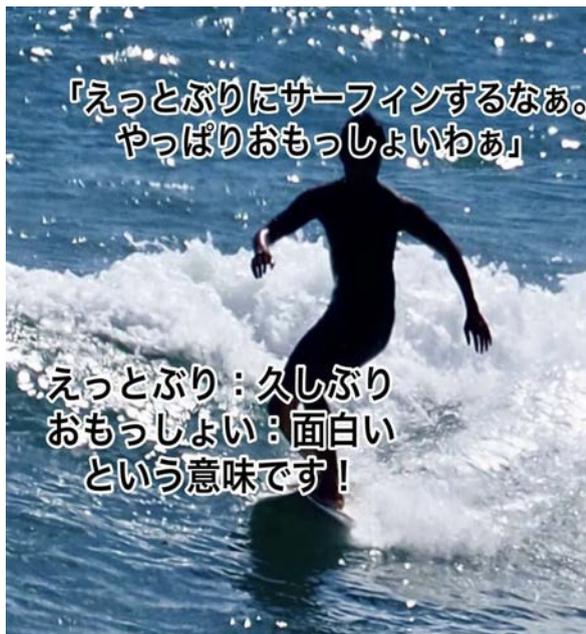
Instagram「阿波弁太郎」

https://www.instagram.com/tokushima_hougen

また、もっとこのアカウントを色々な人に知ってもらい阿波弁を広めるために徳島県観光情報サイト「阿波ナビ」さんにPRをお願いしたり、グループ5の「とくsea」さんのような徳島の情報を発信しているアカウントと互いに宣伝をしあったりした。(写真①)



写真①



写真①



写真①「とくsea」との交換宣伝で使用した画像

下のような画像を作り「阿波弁単語」として阿波弁の使い方などについて投稿した。主に阿波弁を使った例文を作り、問題を出題した。(写真②)他にも、間違えやすい阿波弁単語集(写真③)やおじいちゃんやおばあちゃんが使う阿波弁と私たち世代が使う阿波弁の違い(写真④)などを投稿した。また、動画を作ったりした。全ての動画の再生回数は100回を超えており、自分たちの投稿に比べて、動画の方が閲覧数が多いことがわかった。毎週火曜日と木曜日、17時に投稿をしその宣伝と

してストーリーをあげた。(写真⑤)ストーリーにもいいね機能が導入され、みてくださったフォロワーの方がいいねを押してくれるようになった。しかし、ストーリーよりも、投稿の方が閲覧数は多かった。

阿波弁単語

今日の阿波弁単語は…

「～じょ」です！

徳島県民は絶対わかる！！

次のページ▶▶▶

写真②

例文:

A:この前Cちゃんに会ったんやけどな、めっちゃきれいになっとったんじょ！

B:え！そうなん！私も会いたかったー！

問題:

この例文を標準語に直しなさい

写真②

答え:

A:この前Cちゃんに会ったんですけどすごく可愛くなってたんですよ！

B:え！そうなんだ！私も会いたかったー！

「～じょ」→～ですよ
という意味です！



次のページ▶▶▶

写真②

+ point

「～じょ」は特に女性がよく使っています！

他に

「～けん」や「～でえ」
などが語尾につきます



次のページ▶▶▶▶

写真② (14回目の投稿)[1]

間違えやすい阿波弁単語



次のページ▶▶▶▶

写真③

問題: 2/5

「着てはいけない」

の意味の阿波弁単語は
どちらですか？

ア:着られん イ:着れん

分かるかな??

次のページ▶▶▶▶

写真③

答え:

正解は…

ア:着られん です！

ちなみに…

イ:着れんの意味は「着られない」
です！



次のページ▶▶▶▶

写真③

「着られん」の使い方

例文:

その服汚れとるけん着られん

標準語:

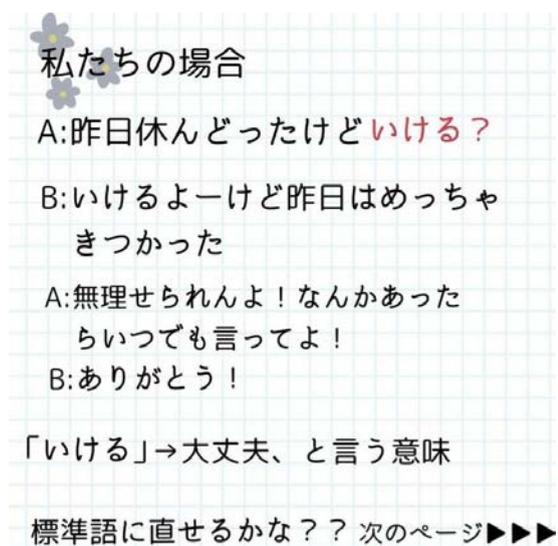
その服は汚れてるから
着てはいけない

次のページ▶▶▶▶

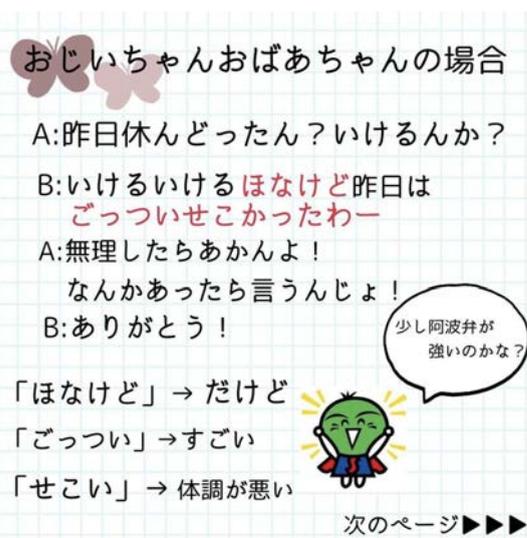
(写真③)間違えやすい阿波弁単語(7回目の投稿)



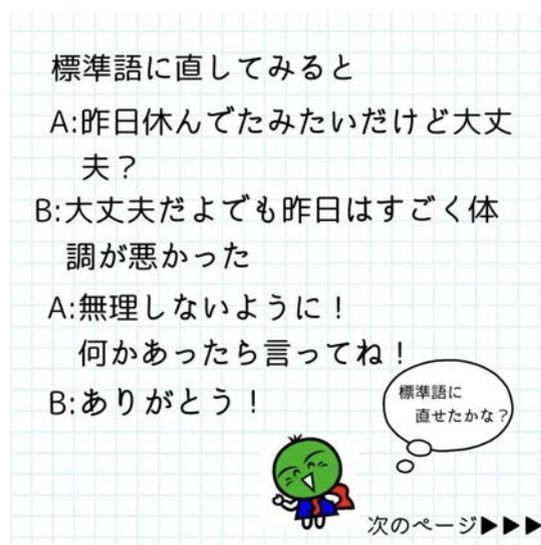
写真④



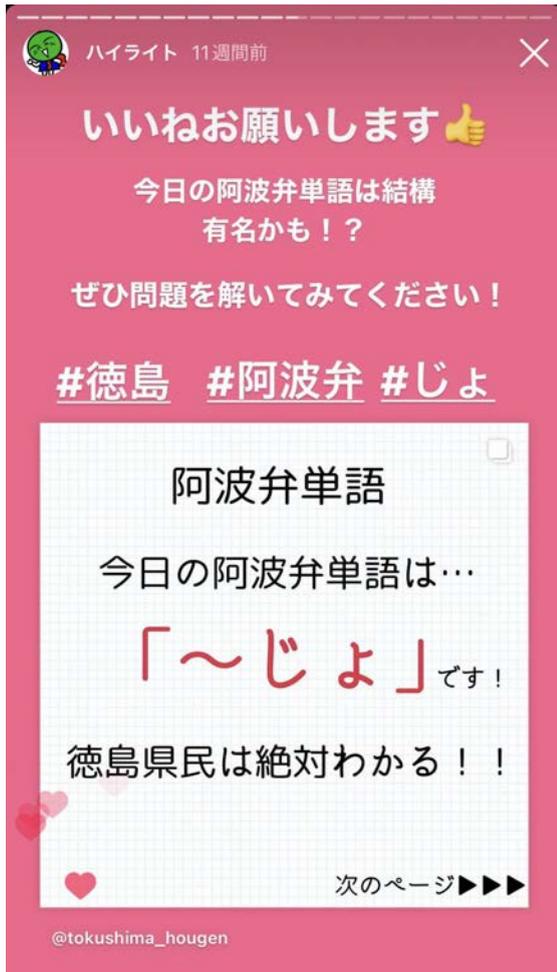
写真④



写真④



(写真④)10代と60代の方言の違い(3回目の投稿)



(写真⑤、ストーリーの例)

いいねの数は「～じょ」が一番多かった。他の投稿では「まけまけいっぱい」(意味:溢れるぐらい)や「あばばい」(意味:眩しい)などの可愛い阿波弁単語のいいねの数は30件前後であった。阿波弁をインターネットなどで調べると「可愛い阿波弁単語集」[3]などが作られていて、阿波弁はキツイという印象が多いのではないかと考えていたが、可愛いという印象も多くあるようだ。それに対し、「ごじゃ」や「しんだい」などマイナーな阿波弁や意味の難しい阿波弁はいいね数が10件前後であまり知られていないということが分かった。

また、プロアカウントに切り替えてからのインサイトを見てみると徐々に投稿を見ているフォロー外の人が増えてきている。(写真⑥⑦⑧)

徐々にフォロワーやいいね数も増え、時々コメントをいただいたり、さまざまなアカウントからいいねをいただいたりした。

実際にフォローしてくれている友達に投稿の感想を聞いてみると「面白い」「これって阿波弁なんじゃ、知らなかった」といった感想をもらい、このアカウントは県外の人だけでなく、県内の人にも日常会話から阿波弁が自ずと広められていることがわかった。

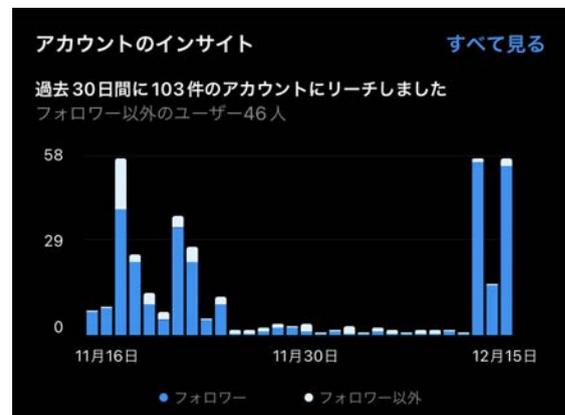
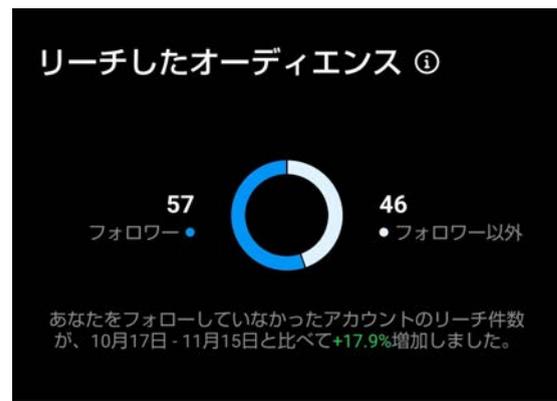


図2. 真ん中:(写真⑥)リーチしたオーディエンス

下:(写真⑦)アカウントのインサイト

3. 考察

写真8から、フォローしてくれていない人にも、みている人はいるということがわかった。特に、ストーリーの閲覧者は、ほとんどがフォロワーであり、フォロワー以外の人はほぼいないのに対し、投稿の閲覧者は、半数以上がフォロワー以外の人たちであった。よって、新規のフォロワーを増やすにはストーリーではなく、投稿が効率的であると考察する。また、自分たちのアカウントを、似たようなアカウントと互いに宣伝し合うと、フォロワーや閲覧数、いいねが増えた。これは、双方のアカウントのフォロワー達が行き交うことによると考察する。

そして、さまざまな人からフォローやいいねをもらったり、フォロワーの方から「知らない阿波弁を知ることができた」という感想をいただくことができたことから、阿波弁の認知度は上がったと考えられる。

また、特に可愛い阿波弁(ex.「～じょ」や「ほなけん」)の投稿はいいね数が多かったことから、可愛い阿波弁は人の目にとまりやすく、興味を惹きやすいと考察する。



(写真⑧:投稿とストーリー、リール動画の閲覧者数の比率)

4. 提言

徳島県のInstagram公式アカウントなどのフォロワーの多いアカウントに、私たちの班のアカウントを紹介してもらうことで、さらにより多くの人を知ってもらえると予想さ

れる。(徳島県の公式アカウントのフォロワーは1500人を超えている)。また、徳島県の情報を発信しているインスタグラマー(カフェなど)とアカウントを宣伝し合うと良いと思う。アカウントを宣伝し合うことはアカウントの閲覧者やフォロワーを増やすひとつの手段である。

阿波弁全体、特に可愛い阿波弁にたくさんいいねがつけられたことから、広報活動を継続して行うことは博多弁や関西弁などのように知名度の高い方言になることを助けることができ、阿波弁の存続を助けるため今後も広報活動を継続して行っていく。

5. 参考文献

[1]写真①の阿波弁単語「～じょ」の投稿画像を作る時に参考にした。

[～じょ \(徳島の方言\) の意味・変換 - 全国方言辞典 - goo辞書](#)

[2]投稿する阿波弁を決める際に参考にした。

<https://awaben.info/ichiran/>

[3]可愛い阿波弁を調べる際に参考にした。

<https://kurashi-no.jp/I0030854>